

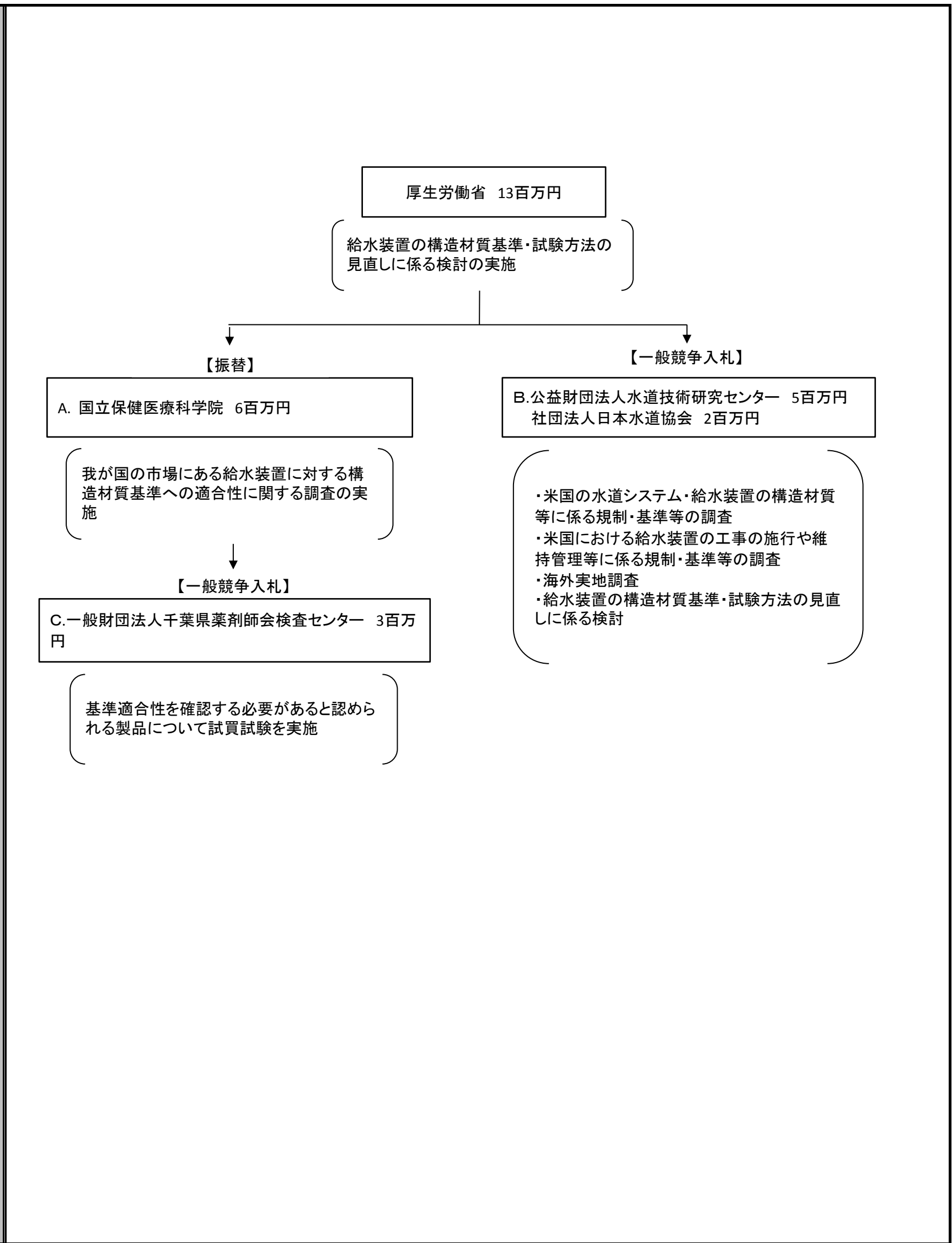
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	給水装置等対策費		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介	
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い水道を確保すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第16条		関係する計画、通知等	「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の一部を改正する省令及び給水装置の構造及び材質の基準に係る試験の一部改正について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道水をより安全に供給するためには、給水装置の構造材質基準の適宜見直しが必要である。本事業では、基準の見直しの検討に資するため、新技術や新材料等に対応するための施工技術調査や国内製品の基準項目に関する調査を実施し、また我が国の基準と諸外国における各種基準や規制方法等について整理・把握を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・諸外国における水道システム・給水装置の構造材質及び給水装置の施工に係る規制・基準等の調査 ・我が国の給水装置の施工、構造材質基準に係る調査検討及び我が国の市場にある給水装置に対する構造材質基準への適合性に関する調査の実施						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	14	14	14	12	12
		補正予算					
		繰越し等					
	計	14	14	14	12	12	
	執行額	13	13	13			
執行率(%)	92.9%	92.9%	92.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	給水装置に関する諸外国の現状調査等により、給水装置の構造材質基準の見直し等を随時検討することで、安全な水道水の供給に寄与する。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	給水装置構造・材質等調査実施項目数		活動実績(当初見込み) 項目	403 (403)	808 (808)	896 (896)	— (前年度程度)
単位当たりコスト	6,138(円/項目)		算出根拠	5,500,000/896=6,138 ※国立保健医療科学院振替額÷給水装置構造・材質等調査実施項目数			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	食品等試験検査費	10.3	10.3				
	職員旅費	0.9	0.9				
	委員等旅費	0.4	0.4				
	諸謝金	0.4	0.4				
	庁費	0.2	0.2				
	計	12.2	12.2				

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	安全で質の高い水道を確保するため、給水装置の構造材質基準の適宜見直しを行うことは広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	給水装置の構造材質基準については全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			-		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	調査実施項目数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	中間の業務実施過程において内容について仕様に見合った成果品とすべく、適宜協議しており、中間段階での支出は合理的である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	事業の性質から数値で定量的に成果目標を示すことは出来ないが、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	活動実績からみてその成果物は十分に活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	活動指標としている給水装置構造・材質等調査実施項目数について、前年度以上の実績を達成しており、平成24年度の実績についても、93%と高い執行率となっているところである。平成25年度以降についても、安全で質の高い水道を確保し、給水装置の構造材質基準の適宜の見直しを行うために、適正な執行を行い、単位あたりコストの削減に努めることとする。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	より安全な水道水を供給するため、給水装置の構造材質基準の見直しに必要な調査等を行うための経費であるが、経費の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	336	平成23年	305	平成24年	264

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国立保健医療科学院			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	一般財団法人千葉県薬剤師会検査センター	3			
物品購入費	試験用給水器具等	2			
翻訳費	事故事例翻訳	1			
計		6	計		0
B.公益財団法人水道技術研究センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	直接人件費、諸経費、技術料等	5			
計		5	計		0
C.一般財団法人千葉県薬剤師会検査センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分析費等	給水装置構造材質調査試験	3			
計		3	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立保健医療科学院	我が国の市場にある給水装置に対する構造材質基準への適合性に関する調査の実施	6		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人水道技術研究センター	米国の水道システム・給水装置の構造材質等に係る規制・基準等の調査、米国における給水装置の工事の施行や維持管理等に係る規制・基準等の調査、海外実地調査	5	1	88%
2	社団法人日本水道協会	給水装置の構造材質基準・試験方法の見直しに係る検討	2	1	86%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人千葉県薬剤師会検査センター	給水装置の構造・材質調査試験にかかる浸出性能調査	3	1	97%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					